

平成 21 年 3 月期 第 3 四半期決算短信

平成 21 年 2 月 9 日

会社名 チッソ株式会社 コード番号 4006 代表者 代表取締役会長 問合せ先責任者 総務部主席	グリーンシート銘柄 URL http://www.chisso.co.jp 後藤 舜吉 堀尾 俊也 TEL (03)3243-6370
---	---

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	209,288	6.0	12,043	△16.6	8,500	△40.5	2,767	△61.8
20年3月期第3四半期	197,528	27.9	14,444	9.9	14,296	5.8	7,240	6.9
20年3月期	269,687	—	20,818	—	20,181	—	10,817	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	17 75	—
20年3月期第3四半期	46 43	—
20年3月期	69 37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	220,291	△96,779	△45.4	△642 47
20年3月期第3四半期	217,471	△102,685	△48.5	△676 45
20年3月期	213,754	△99,077	△47.7	△654 07

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	水俣病補償による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期第3四半期	16,221	△6,146	△2,094	△4,273	22,862
20年3月期第3四半期	10,942	△8,475	2,133	△3,599	24,389
20年3月期	11,937	△11,720	2,916	△5,883	20,134

2. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	255,000	△5.4	13,000	△35.6	6,000	△44.5	38 49

(注) 平成 20 年 12 月 24 日に公表しました業績予想については現時点で変更はございません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 有
 - (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 - (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- (注) 詳細は、2 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成20年4月1日～平成20年12月31日）のわが国経済は、世界的な金融危機の影響により世界経済が後退局面に転じるなか、企業収益や設備投資が減少し、雇用情勢も悪化、また個人消費も弱含みに推移するなど景気は急速に悪化しました。

当社グループにおきましては、化学品事業セグメントでは、景気後退の影響から、需要は大幅に減少し、液晶を中心とする機能材料分野をはじめ化学品分野及び加工品分野の全般において、厳しい状況となりました。

その他の事業セグメントにおいても、エンジニアリング部門は、受注高、売上高ともに低調となり、商事部門は需要家の在庫調整や減産の影響により売上高が減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は前年同期に比べ2,820百万円増加し、220,291百万円となりました。

また、純資産は、△96,779百万円となりました。

当第3四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末と比較して2,728百万円増加しました。その主な要因は次のとおりです。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは16,221百万円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは6,146百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは2,094百万円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済によるものです。
- ・水俣病補償によるキャッシュ・フローは4,273百万円の支出となりました。これは主に水俣病患者に対する補償金の支払いによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の実績見通しにつきましては、平成20年12月24日に発表しました業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規：1社 社名：大阪樹脂化工(株) 除外：1社 社名：日本ポリ・プロダクツ(株)

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

本四半期決算の数値は、税効果会計の適用等、所要の会計上の修正をおこなっておりません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

・たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

・リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

この変更による損益に与える影響はありません。

添付資料

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

科 目	当四半期 (平成21年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成20年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産	126,978	124,507	2,471	2.0	119,124
II 固定資産	93,246	92,872	374	0.4	94,548
III 繰延資産	65	91	△26	△28.6	81
資産合計	220,291	217,471	2,820	1.3	213,754
(負債の部)					
I 流動負債	112,784	115,616	△2,832	△2.4	107,027
II 固定負債	204,286	204,540	△254	△0.1	205,803
負債合計	317,070	320,156	△3,086	△1.0	312,831
(純資産の部)					
I 株主資本	△105,872	△112,211	6,339	—	△108,637
II 評価・換算差額等	5,761	6,758	△997	△14.8	6,676
III 少数株主持分	3,332	2,768	564	20.4	2,884
純資産合計	△96,779	△102,685	5,906	—	△99,077
負債、純資産合計	220,291	217,471	2,820	1.3	213,754

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円、%)

科 目	当四半期 (平成21年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成20年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	209,288	197,528	11,760	6.0	269,687
II 売上原価	179,244	166,860	12,384	7.4	225,718
売上総利益	30,043	30,666	△623	△2.0	43,968
III 販売費及び 一般管理費	17,998	16,222	1,776	10.9	23,150
営業利益	12,043	14,444	△2,401	△16.6	20,818
IV 営業外収益	849	1,932	△1,083	△56.1	2,174
V 営業外費用	4,393	2,079	2,314	111.3	2,811
経常利益	8,500	14,296	△5,796	△40.5	20,181
VI 特別利益	12	508	△496	△97.6	499
VII 特別損失	3,476	3,735	△259	△6.9	4,974
税金等調整前 四半期(当期)純利益	5,036	11,067	△6,031	△54.5	15,706
税金費用	2,030	3,706	△1,676	△45.2	4,634
少数株主利益	238	119	119	100.0	254
四半期(当期)純利益	2,767	7,240	△4,473	△61.8	10,817

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当四半期 (平成21年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参考) 前年度 平成20年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,036	11,067	15,706
減価償却費	6,804	4,882	7,279
売上債権の減少額	7,323	△6,146	△6,568
たな卸資産の減少額	△8,609	△2,754	△3,929
仕入債務の増加額	2,619	4,954	△2,485
その他	3,046	△1,060	1,934
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,221	10,942	11,937
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,146	△8,475	△11,720
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,094	2,133	2,916
IV 水俣病補償によるキャッシュ・フロー	△4,273	△3,599	△5,883
V 現金及び現金同等物に係る換算差額	△978	62	△441
VI 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	2,728	1,063	△3,191
VII 現金及び現金同等物の期首残高	20,134	23,325	23,325
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	22,862	24,389	20,134